

ク ロ ー バ ー

# Clover

VOL.28

2019年夏号



株式会社 さち コーポレーション  
グループホーム さち

## ホーム長のご挨拶



先日友人に誘われ「MOTHER～特攻の母 鳥濱トメ物語～」というお芝居を観る機会がありました。

この物語は鹿児島県薩摩半島南部の知覧町で「富屋食堂」を営まれ、特攻の母と呼ばれた鳥濱トメさんのお話です。富屋食堂は昭和 17 年、帝国陸軍の指定食堂となり多くの隊員が訪れました。隊員は 17 歳から 20 歳の青年が中心で、特攻命令が下ると片道分の燃料で航空機に積まれた爆弾と共に、敵軍艦へと戦死前提で出撃していきました。

トメさんはそんな青年たちをわが子のように可愛がり、皆から「お母さん」と慕われていました。隊員たちは出撃する際、富士山によく似ている開聞岳の上空を 3 回旋回し愛する故郷や家族に別れを告げ、南方へ飛び立って行ったのです。

以前、グループホームの利用者様に鹿児島県出身の方がみえ、こう仰いました。「本当兵隊さんは可哀想だわ。なんも悪いことしとらんのに若い者ばかり死んでった。畑にいるとな～、富士山に似た山があつてな、その山の周りを 3 回飛んで回ってから行くんだよ。よっぽど未練があつたんだよな」…お芝居を観ていてこの言葉が鮮明に蘇り、事実だった事を改めて重ね合わせました。

日本の若者を送り出した富屋食堂は敗戦後、進駐軍の指定食堂となり戦勝国である米軍をもてなすこととなりました。村民に裏切り者として石を投げられ、トメさんは周囲から冷たい目で見られるようになりました。複雑な思いのトメさんでしたが、故郷を離れた米兵がホームシックや戦争のフラッシュバックで苦しむ姿を見て「国は関係ない。皆同じ人間だ」ということに気が付き、傷ついた米兵の母にもなろうと励み、彼らから「マミー」と親しまれていきました。

トメさんは「彼らの苦しみを少しでも生かせる人が生まれてくれば、彼らの最大の慰霊になるよ」と語り、この世を 89 歳で去られました。平成 4 年のことです。

時代が変わりゆく中で多くの歴史が人々の記憶から薄れていきます。「歴史は繰り返される」という言葉がありますが、人は歴史の中から学んでいきます。

世界中で多くの若者たちが志半ばで命を失っていくという悲劇は二度と起きてはなりません。…私は持ってきたハンカチをぐしゃぐしゃにし、目を腫らして家路に着きました。



## 研修レポート

5月に京都で2日間に渡って行われた「第20回日本認知症ケア学会大会」に参加させていただきました。大会では広い会場の中で様々な規模・内容の認知症ケアに関する研究発表が同時進行で行われ、参加者はその中から自分の興味・関心があるテーマを選択して聴講します。2日間の間に多くの発表を聴講させていただきましたが、特に印象に残った物を2つ書かせて頂きます。

### 1日目「後悔のケア：本人の意思はどこまで尊重されていたか」

施設での介護サービス。そこにご利用者個人の意思はどれだけ尊重されているのか？ご利用者の心からの願い、安らぎにどれだけ気づき寄り添えるのか？という課題を投げかけられるような内容でした。

私もさちで10年勤め、多くの利用者様との別れを経験してきました。今でも時々その方々のことを思い出し、温かい思い出と共に「あのケアは本当に正しかったのか？私がしていたことはケアではなく、自分本位の業務だったのではないか？」等、多くの疑問や後悔で苦しくなることがあります。日々利用者様個々の方が真に求める関わりを考え実践し、到達できたような手応えを感じていても新たな疑問が…と、答えは見つかりません。

すっきりしないまま迎えた2日目に聴講したテーマ。「私たちは認知症ケアにどんな人生の意味を見出せるのか」その中で大会初となる、認知症ケアに対する宗教的アプローチに関する発表がされました。その中で私は病院内でキリスト教の牧師をされるチャプレンの方のお話を聞くことができました。

病や障害、人生の悲哀で負った心の傷が癒されないまま認知症を発症したり、発症後に受けた新たな傷に苦しまれる方がとても多いです。彼らの癒されなかった心の傷が魂の叫びとして様々な言動に表れ、それを受け入れられない・理解できない他者の態度にまた傷ついていく負のループ。癒されるべき傷を見つけるには一人一人を「どなたも皆尊重され、大事に扱われるべき存在である」という心で向き合うこと。この言葉を聞いてはっとしました。「仕事もプライベートも上手いはずが辛かった頃に、私が利用者様や周りの人たちにしたかったことはこれだったんだ。何より私自身がそうしてほしかったんだ」と気づき、涙が溢れてきました。

この大会に参加したことで自分の中で利用者様だけでなく、周りの方々にもどう向き合っていくか指針が見つかり、以前よりも心から笑って人に接していることを感じています。

## あっちこっちそっち

このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

### 母の日 BBQ (5月)

毎年恒例の母の日 BBQ を開催いたしました。天気にも恵まれ、たくさんのボランティアの方やご家族様が準備の段階から協力して下さり無事楽しく終える事ができました。今年は鮎の塩焼きではなく、北海道名物の鮭を使った「ちゃんちゃん焼き」に挑戦！上手く作れるか不安でしたが、長年主婦をしてこられた心強い皆さんのおかげで美味しく仕上がりました。以前入居されていたご家族様も来て下さり「さち」がたくさんの方に支えられていると改めて実感致しました。



### 父の日 トヨタ博物館 (6月)

男性利用者様3名と長久手のトヨタ博物館へ行ってきました。そこには昔からの名車たちがズラリ。入口付近には懐かしい型の古いバスが展示されていたのですが、ある利用者様は嬉しそうにそのバスに乗り込み、「おー！」と座席から私達に手を振って下さいました。その後も「この車、知ってる」と教えて下さったり、大きいアメリカ車をじっくり眺たり楽しみました。昼食は豊田に戻りサガミへ。久しぶりの外食に箸が進んでみえました。



### 七夕 (7月)

今年の七夕も願い事を書いた短冊を笹の葉に飾りました。色々な願い事がみられ「元気に皆仲良く過ごしたい」やご家族様の健康を願ったものなど健康面に関する願い事がみられました。お昼ご飯に海鮮ちらし寿司を頂き、おやつにはすいかと水まんじゅうを食べられ、七夕の歌を唄い皆さん思い思いに過ごされました。



## さちのつぶやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつぶやきを少しずつご紹介いたします。

### 私の好きな物

ある日の昼下がり、一人ソファーにてテレビを観ていた男性利用者さん。突然、「わあ、凄い。」と笑みを浮かべてにこにこして見えました。テレビの画面には、焼きそばやお好み焼きなど屋台メニューが写しだされており、今にも美味しそうな匂いがしてきそうでした。食べ物の話をすると嬉しそうに話され「焼きそば大好きですよ。今度一緒に食べに行きましょう。」とお誘いして下さいました。最後に一言、内緒話のように小声で「食べ物もいいけど本当は女性の方がいいけどね。」と笑って見えました。



### 夫婦円満

「おっかあとはいつも一緒におったな～。スイカを持って車であちこち行ったわ！おっかあとお寺さんに届けに行くの好きだったな～」といつも嬉しそうに奥さまとの思い出話を聞かせて下さいます。夫婦円満の秘訣は？と職員がお聞きすると「そんなもんあーせんよ！何も言やーせん一緒におるのが当たり前だった」と。奥様は亡くなっていますが今でも「おっかあに会いたいなー」「心配だでー」との言葉をよく耳にします。こんな風にいつまでも思い続けることのできる夫婦関係がとても羨ましくなりました。最後には「おまん結婚したらんのか！秘訣より相手見つけな～！」と、もっともな意見をいただき2人で大笑いしてしまいました。



### 子育ての極意

ある職員が「子育て中なんです」とお話したときのこと。その女性利用者さんはにっこりと笑いながら「子どもはね、叱っちゃいかんよ。親がやさしく繰り返し言ってあげれば必ずわかってくれるからね」と教えて下さいました。「あとは人の事をわるく言わんように教えてあげることね」と。さすが3人の娘さんを育ててこられたお方です。子どもと接していると感情的になることもありますが、重みのある「子育ての極意」を実行してみようと心に誓った職員なのでした。



## 癒しの時間 Lesson25 ティーシロップ

長い梅雨が明けた翌日から強烈な日差しと高気温がやってきましたが、皆様体調は崩されていないでしょうか？季節の流れが目まぐるしく、気が付けばもうお盆目前となり夕方の空にはほんのりと秋の気配が混じり、夏が全力疾走していくように感じてしまいます。

でも、まだまだ暑さは厳しい！紅茶好きの私にはお茶を淹れるたびにお湯を沸かすのは中々苦痛です。そんな訳で考えてみました。薄めるだけでお手軽アイスティーができてしまう、ティーシロップのレシピを紹介させていただきます☆

<材料 約 140ml 分>

・紅茶葉 10g ・砂糖 50g

<作り方>

- ① やかんとティーポットを用意し、やかんに水道から勢いよく水を入れ火にかけます。
- ② 水面が揺れだすくらい熱くなったらティーポットにお湯を入れます。（ポットを温めるため）
- ③ ティーポットのお湯を捨てたら茶葉を入れ、沸騰直前まで加熱したやかんのお湯を 150 cc程注ぎ紅茶液を抽出します。抽出時間は茶葉により異なりますが、通常よりも 2 倍以上時間を置きます。
- ④ 別の容器に③を濾し入れ、濃度が均等になるようさっと混ぜたら重さを量りその内から 100 g 分を小鍋に移します。
- ⑤ ④に砂糖を加えて混ぜながら火にかけ、砂糖が溶けたらすぐに火から下ろし、粗熱が取れたら保存容器に入れて完成です。冷蔵庫で 2 週間程保存できますが、白っぽく濁ってきたら痛み出したサインですので破棄してください。



シロップをお好みの濃さで薄めると即席アイスティーになります。グラスに冷凍フルーツを入れ、炭酸水で割るとシャンパンのように華やかになり素敵だと思います☆また、原液をアイスやかき氷にかけても美味しいですよ。

色々アレンジがきくのでちょっと作っておくと便利です♪

〈ゆうこ〉

5月11日～8月10日の間に、たくさんの方々からさちにご協力いただきました。

さわやか豊田のみなさん 佐橋澄雄さん ショウワサウンズのみなさん 杉山順子さん  
高見さん 豊田工業高等専門学校インターアクトクラブの学生さん 細田さん  
豊田若者サポートセンターさん 中京大学・同朋大学の学生の皆さん  
(順不同)

### サポーターさん募集

グループホームさちではサポーターさん(ボランティア)を募集しています。「ボランティアっていつと何か出来ないといけないのでしょ?」と思う方もみえるかもしれませんが、確かに色んな特技を活かしてボランティアをして下さる方もみえますが、ほんの空いた時間に、入居者の方とお話しをさせていただいたり、お茶を飲みがてら一緒に植物の手入れをしたり、ご飯作りを手伝っていただいたり・・・普段の生活にほんの少しのお手伝い(サポート)をさせていただけるだけでも大歓迎です。お一人でもお友達同士でお越しいただいてもOK。一緒にこれからの高齢者の生活を考えながら活動しませんか?

<担当: 神谷>

### 編集雑記

6月下旬ごろからグループホームの軒下にツバメが巣をつくりました。雨や風、そして夏の暑さにめげることなく巣をつくり、雛を育てていく様子をいつも利用者様と一緒に観察を続けながら、私たちも四季の移り変わりを感じています。孵った雛が大空に羽ばたき、また来年さちに帰ってきてくれることを願いながら・・・(真理)

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2019年8月10日（発行予定月 2月5月8月11月）